

モンゴル文字で名前を書く ②

藤井麻湖 (せいま) 愛知淑徳大学講師

先月号では日本語の五〇音をモンゴル文字に二対一対応させる表を示したが、「ん」の語中形と「あ」の語中形は同じ「**ᠨ**」で示されることに気づき、不安を感じた方もおられよう。たとえば、「しんいち」を書く場合(図①-1)、三番目の文字 **n** は **a** として考え、すなわち「しあいち」と読めるのではないかと、さらに注意深い読者なら、図①の **sin** や **si** の部分はワニセットで日本語の「しゃ」に対応させた形と同一であるので、「しあいち」とも読めるのではないかとも思うだろう。

しかしこの場合においては、モンゴル語の正書法では、**i** の連鎖や、母音の三連続はないので **si** **ai** **chi** すなわち「しあいち」はありえない。また、モンゴル語で「しゃ」の音は **si** の連鎖で書かれないので、**shai** **chi** すなわち「しあいち」と読まれにくいのも事実である。なぜなら、モンゴル文字の正書法で **i** の語中形が「**ᠢ**」と書かれる場合、直前の文字が子音であることが多いからである。直前が母音の場合、例外を除いて **y** という子音を挟み、**sinichi** ではなく **sin-yi-chi** と書くこと(図①-2)、モンゴル人も正しく読んでくれるだろう。同様に、「えいいち」という名前も、図②のように **eiich**

i ではなく、**ei** **yi** **chi** と書くのがよい。「**ん**」と「**あ**」の語末形にしても、同じ形「**ᠨ**」であるので、こちらはどうかというとき、「**あ**」や「**しゃ**」などで終わる姓名ではあまりない事例だと思いが、場合によっては **as** **si** **a** ではなく、**n** や **sin** と発音されてしまうことが起こる。なぜなら、モンゴル語の正書法では、語末で **ᠨ** と読まれる場合、直前は母音であり、また、語末で **a** と読まれる場合、直前は子音になるからである。また、たとえば「前田」という姓は図③のように書けるが、ここで「**ᠨ**」の文字は、**w** という子音の語中形とも同一なので、**mw** **da** すなわち「**まただ**」とも読める。これはモンゴル語には **a** という音や綴りが存在しないためである。このように、読みがモンゴル語の慣習に影響されるものもあるのは、やむをえないこととあらためるしかない。

ところで、たいていの語頭形と語中形は同形でよいが、「**が**」や「**こ**」のほか「**じゃ**」「**じゅ**」「**じよ**」の語中形は、図④のように異なる。また、語末形についても同図を参照してほしい。最後に、実際に内蒙古人にモンゴル文字で日本人の名前を書いてもらうと、別の書き方をされる場合もあることを付け加えておきたい。というのも、モ

ンゴル語の母音はじつは次頁の表のように七母音あり、日本語より二母音多い。ところが、文字のほうは五しかない。 **o** と **u**、**ö** と **ü** はそれぞれ同じ文字であらわしている。これに従うと「**う**」と「**お**」を区別できないが、文字が余ることを利用して、「**う**」には、語頭形と語中形にだけ **o** と **u** の文字を用い、語末形を「**ᠤ**」と区別させるために、**ᠣ** の最後の止めの部分を少し左側に **ᠣ** と湾曲させる例がある。本稿では、この例に倣ったのである。「**う**」と「**お**」の書き方だけでなく、他の「かな」についても、確立した変換法はないので、必ずしも体系的な方法によらず、近似的な音をとりにあえずモンゴル文字で移しかえてるのが現状である。ただし「**え**」に関しては、外国語だけに用いる「**ᠡ**」であらわすことがかなり慣用化されているようである。

それゆえ、先月号の「義経」は図⑤-1 だけではなく、図⑤-2 と書くこともできる。しかし、後者は「よしつね」とも読めるが、「よしつおね」とも読めることになる。とくにこの場合、モンゴル語のまた別の規則「母音調和」の法則により、「よしつね」ではなく、「よしつおね」と読まれる可能性が高いことを付け加えておこう。

図①-1

s i n i ch i

※ **nnaa** で「しあいち」
※ **sin** または **si** **aa** で「しゃ」

図①-2

s i n y i ch i

図②

e y i y i ch i

図③

m a w = e d a

図④

じよ	じゆ	じゃ	ご	が	語頭形
					語中形
					語末形

※先月号図①の「じゃ」行が語頭形ではなく語中形になっていました。正しくは本表のとおりです。ここにお詫びとともに訂正いたします。

表：モンゴル語の七母音

	a	e	i	o	u	ö	ü
語頭形							
語中形							
語末形							



看板に使われているモンゴル文字

図⑤-1

y o s i ts u n e

図⑤-2

y o s i ts u n e

u または o